



日本スーパーマーケット協会

平成26年4月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	50,233,423 万円	100.0%	99.4% (109.9%)	48,302,883 万円	97.1% (107.2%)
食 料 品	42,482,427 万円	84.6% (82.4%)	100.4% (109.0%)	40,816,581 万円	97.7% (105.9%)
農 産	6,423,470 万円	12.8% (12.2%)	104.2% (107.7%)	6,212,099 万円	101.2% (104.8%)
水 産	4,285,759 万円	8.5% (8.0%)	102.3% (105.5%)	4,112,328 万円	99.1% (102.4%)
畜 産	5,131,859 万円	10.2% (9.5%)	106.8% (111.0%)	4,935,929 万円	103.8% (107.7%)
惣 菜	4,786,770 万円	9.5% (8.4%)	105.4% (105.4%)	4,597,969 万円	101.9% (101.7%)
日配食品	9,527,028 万円	19.0% (17.7%)	101.0% (106.8%)	9,122,619 万円	98.6% (103.8%)
加工食品	12,327,541 万円	24.6% (26.6%)	93.6% (112.7%)	11,835,637 万円	91.4% (109.8%)
生活関連	3,216,665 万円	6.4% (7.6%)	92.9% (123.1%)	3,115,762 万円	92.0% (121.8%)
衣 料 品	1,578,070 万円	3.1% (3.4%)	93.7% (107.4%)	1,537,010 万円	93.6% (107.1%)
そ の 他	2,956,261 万円	5.9% (6.6%)	95.8% (109.4%)	2,833,530 万円	95.2% (109.0%)

② 数 値

全店総売上高	50,233,423 万円	店 舗 数	4,707 店舗
総売場面積	9,208,434.1 m ²	総従業員数	254,685 人

店舗平均月商	10,672.1 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,773.9 円 (99.2%)
月間m ² 売上(前月)	5.5 万円 (6.3 万円)	平均店舗面積	1,956.3 m ²
月間坪売上(前月)	18.0 万円 (20.7 万円)	パート比率(前月)	77.8% (77.2%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 上旬は、3月の駆け込み需要の反動が大きく売上は伸び悩んだ。特に、米、酒、食油、飲料などが苦戦したが、中旬以降はほぼ通常月まで回復傾向が見られた。また、惣菜を中心に生鮮食品などの動きは、3月の反動は少なく、4月を通して順調に推移した
- ・ 中旬以降は天候も良く、気温の上昇に伴い、涼味系（ところてん、刺身こんにゃく、アイスなど）の商品の動向が良かった
- ・ 前年同月比は既存店7カ月ぶり、既存店食料品11カ月ぶり共にマイナスだった

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 土物類は、入荷減の影響で相場高騰も、玉ねぎ、じゃがいもを中心に動向が良かった。また季節品のたけのこの動向が良かった
- ・ 果物では、いちご、バナナ、スイカの動向が良く、既存店前年同月比は10カ月連続でプラスした

○ 水産

- ・ 水揚げが少なく、相場が不安定の状況が続いたため4月を通して苦戦した。特に、マグロが苦戦した
- ・ 生カツオは水揚げ遅れの影響で苦戦した。カツオたたきの動向は良かったが、既存店前年同月比は3カ月振りにマイナスした

○ 畜産

- ・ 牛肉・豚肉・鶏肉の各品群で売上が継続して好調に推移した。牛肉では切り落とし肉、焼肉、豚肉は生姜焼き商材、鶏肉はから揚げ用が好調に推移した。また、牛肉の味付け焼肉用の動向が良かった。既存店前年比は14カ月連続でプラスした
- ・ 加工肉は、3月の反動減か、全体的に動向は鈍かった

○ 惣菜

- ・ 4月を通して動向が良く、3月の反動減は見られなかった。
- ・ 上旬の花見の需要は、悪天候の影響でやや動向が鈍るも、下旬は、天候に恵まれ行楽需要で、弁当類、から揚げなどの動向が良く、既存店前年比は7カ月連続でプラスした

○ 日配・加工食品

- ・ 上旬は、反動減で冷凍食品の動向が鈍かったが、下旬は、先月並に回復した。日配品は8カ月ぶりに既存店前年比がマイナスした
- ・ 気温の上昇もあり、ところてん、刺身こんにやく、アイスなど涼味商材は好調に動いた。特に、マルチアイスが好調に推移した
- ・ 調味料、ドレッシング、食油、酒、米など3月の反動減の影響で既存店前年比は3カ月振りにマイナスした

○ 「行楽マーケット」について

- ・ 弁当、ヤキトリ、から揚げ、枝豆の動向は良かったが、3月の反動で、酒、ふりかけ、粉類、油の動向が鈍かった
- ・ 行楽需要で、牛肉、鶏肉の動きが良かった
- ・ 加工肉の串付きフランク、ウインナーの動向は苦戦した

○ 「ゴールデン・ウイーク前半」について

- ・ 消費税増税後の節約志向から、自宅での「手巻き寿司」「焼肉」「サラダ」などの動きが良かった
- ・ 日帰りでの外出が多いためか、夕刻のにぎり寿司の動向が良かった

○ 「消費税増税対応」について

- ・ 増税後の生鮮食品や惣菜の動きは、ほぼ通常通りに動き影響を感じられなかったが、加工食品、冷凍食品、日用品などは上旬に影響があったものの、中旬以降の影響は少なかった
- ・ 価格表示で、外税価格表示および参考価格表示を併記するも、見づらいなどと消費者からの意見があった

以上